

筑波山地域ジオパーク中核拠点施設に関する提言書

中核拠点施設の現状と課題

施設内整備

- 1 老朽化が進んでいる（渡り廊下、外構）
乳幼児やその保護者への配慮の充実（授乳室、オムツ替え、ソファ）
- 2
- 3 飲食機能の充実（物販、飲食スペース）

展示内容

- 4 ストーリー性の検討（コンセプトの明確化）
- 5 乳幼児、未就学児への配慮（施設の安全性、書籍の充実）
- 6 周辺施設との連携（ジオサイトやりんりんロード沿いの施設）
- 7 シンポジウムの開催（研究者など）

運営・集客方法

- 8 地域との連携強化（人流の誘導、観光拠点、冊子）

教育関連

- 9 施設活用の推進、教育旅行などの誘致

交通手段・施設外状況

- 10 公共交通での利便性向上
- 11 進入路の安全確保
- 12 看板サインの充実

今後の取組について（要望）

施設内設備	対応（案）
1 校舎西側の展示室から望む筑波山は絶景である。同時に見える体育館までの渡り廊下屋根部分の苔などが願望を興ざめにする。渡り廊下屋根部分の改善を求める。また既存アルミサッシを一枚ガラスに替え、筑波山の眺望がさらにたのしめるよう改善を求める。	○渡り廊下の撤去 R6年度予算で撤去費用を計上。ただし、渡り廊下の屋根に体育館への給水管が付いていることから、撤去可能かどうかについて要検証。 →渡り廊下を撤去する際に、給水管については地下への埋設工事が必要となる。来年度以降に屋外トイレを設置する際に渡り廊下部分を横断する下水管の工事が発生することから、給水管の地下埋設とともに撤去工事についても来年度以降に実施することとする。 ○既存アルミサッシの一枚ガラスへの交換 旧昇降口上部に排煙窓があることから、法令上問題ないか検証する。また、施設全体の長寿命化計画を今後策定し、優先順位が高い箇所から修繕していく。
2 フェンスなどの外構についても老朽化が進んでいる。今後、地元住民の意見（騒音、夜間時の対策）なども反映し改善を求める。	○外構 施設全体の長寿命化計画を今後策定し、優先順位が高い箇所から順に修繕を行っていく。（1、2階壁面より雨漏りをしているため、優先順位高） 住民からの要望により今後施設北側の一部に目隠しフェンス設置について検討していく。 ○騒音、夜間時の対策 R5年度に駐車場に1か所防犯カメラを設置済。 BMXの大会時の騒音が近隣住民から苦情として届いていることから、来年度以降に建物ピロティ部分にシャッター等の設置について検討していく。

3	子育て世代にも安心して来場していただくために、授乳室（女性のみ入室可）、オムツ替えスペース（男性も入室可、調乳用温水器を併設）の設置を求める。加えて、ジオストーリーラウンジ壁際に、少し奥行きのあるベンチやソファ（赤ちゃんのお世話もできる）の設置を求める。	○授乳室、オムツ替えスペース 授乳室（mamaro）を8月から設置済み。赤ちゃんケア（授乳、オムツ替え、離乳食、男性も入室可）への対応可能。 ○ベンチやソファ R6年度予算でベンチ購入予定。
4	整備される休憩コーナーなどで軽食や飲み物を購入できるよう検討を求める。また、購入した飲食物をゆっくり食べられるスペースの確保を求める。	○休憩ラウンジでの飲食 休憩ラウンジは飲食可。また、館内の物販販売コーナーにて、土産品購入可。
展示内容		
5	動画については、ジオストーリーのコンセプト（成り立ち、地質的特徴、地域の文化的要素）が、より来場者に伝わるような内容になるよう工夫してほしい。	○動画 モニター横の壁面グラフィックで動画の内容を見ることができ、大地の恵みと生活のつながりが一目で分かるようになっていいる。また、筑波山地域ジオパークの概要がわかるウェルカム動画の作成を検討する。
6	ジオストーリーラウンジの砂を使った展示において、未就学児が砂をこぼしても大丈夫なように、もしくは未就学児が遊んでも砂がこぼれないように工夫していただきたい。また、未就学児が気軽に鉱石を盛ったり、触ったりできる展示がほしい。	○砂を使った展示の工夫 室内遊び用の特殊な砂を使用しているが、現状として砂のこぼれは解消できていない状況。今後、どのような対策がよいか展示業者と検討していく。また、発信発見ラボでは鉱石の展示しており、実際に触ることができる。
7	休憩コーナーの一面に本棚を設置し、ジオにまつわる本（乳幼児向け絵本～大人向け書籍）を置いてほしい。	○図書 発信発見ラボにジオ関連の図書を設置済。今年度も子ども向け図書等を購入している。また、R6年度のPR業務で絵本を作成し、読み聞かせイベントの開催など、様々な場面で活用して行く予定。
8	つくば霞ヶ浦りんりんロード沿いのジオにまつわる施設や史跡など、ここだけでしか体験できない見どころの紹介が欲しい。	○ジオにまつわる施設や史跡などの紹介 休憩ラウンジで周辺案内MAPで近隣の施設、史跡を紹介しているほか、文化財ギャラリーにおいて、ジオに関する文化財を展示している。
9	研究者をはじめ、ジオに関わる様々な発表の場（シンポジウム）の開催を求める。	○シンポジウム等の開催 教育・学術部会にて研究助成金の成果発表を年1回行っており、R5年度はジオミュージアムにてシンポジウムを開催した（R6.3）。 R6年度も同様のシンポジウムを開催予定。さらに、年明けにはつくばジオミュージアムでのイベント「筑波山地域ジオパークの日」を地元と協働しながら開催することを検討し、その中でのシンポジウムの開催も検討していく。
10	筑波石を用いた展示物（モニュメント）の展示が欲しい。	○筑波石の展示物（モニュメント） 校庭に石のモニュメントがすでにあることから、活用を検討する。
運営・集客方法		
11	周辺の商店街や施設などへ人流を誘導する工夫が必要。近隣施設を巡れるようなMAPなどを作成し、中核拠点施設でPRしてほしい。また、中核拠点施設で学んだことを、実際に体験できる動線を用いた冊子などを作成し、周辺ジオ巡りに繋げてほしい。	○周辺MAP、冊子 休憩ラウンジの周辺MAPで近隣の施設を案内している。また、R5年度のPR事業にて、るるぶ特別編集を制作し、現地への誘導を促している。

12	地域との連携、地元住民との関わりを強く表現したい。農産物や物産品の販売はもとより、ここでしか食べられない食事の提供を思案してほしい。	○地域との連携、地元住民との関わり R5年度は、R8の北条まちづくり振興会と連携してイベントを実施（2/24）。イベント実施時にはマルシェにて農産物、物産品の販売を行った。 R6年度の年明けにはつくばジオミュージアムでのイベント「筑波山地域ジオパークの日」を地元と協働しながら開催することを検討し、実施する。
13	ジオの施設ではなるが、観光の拠点として街歩きや登山者などの観光客に立ち寄りやすい工夫が必要。ツアーなどの発着の場として有効に活用してほしい。	○観光の拠点として観光客が立ち寄りやすい工夫 ガイドのスキルアップ講座を定期的開催し、つくばジオミュージアム発着のまち歩きツアーコースをジオガイドとともに検討中。
14	開館後、来場者へのアンケート（紙面及びオンライン）を定期的実施してほしい。	○来場者アンケート R5年度より定期的なアンケートを実施中。好意的な意見が多く寄せられている。
教育関連		
15	市内や市外、県外の小中学生に知ってもらい、学ぶ場として積極的に中核拠点施設の活用を推進してほしい。	○小中学生が学ぶ場としての施設活用 6市の教育委員会と連携し、校長会にてつくばジオミュージアムを紹介しており、引き続きPRをしていく。 また、現状として市内外問わず小中学校の団体利用が多くなっている状況。
16	県内小中学校行事（遠足など）の雨天時コースとしてPRしてほしい。	○小中学校行事の雨天時コースとしてのPR 毎年、教育委員会を通じてジオパーク出前授業の案内を行っており、その際に、学校行事の雨天時コースとして活用できることをPRしている。実際に雨天時利用の予約も多数受けている状況。
交通手段・施設外状況		
17	つくば駅から公共交通での来場は容易ではない。アクセスの向上を検討してほしい。	○つくば駅からのアクセスの向上 交通政策課が、R6年10月より、近隣のつくばバスのバス停の名称を「筑波山ゲートパーク入口」に変更する。筑波山ゲートパークにバス停を作ることについては、引き続き依頼をしていく。
18	国道からの進入路の道幅が狭い。通学路であることから、急ぎ道路の拡幅を求める。また、施設入口（校門）について、筑波山ゲートパークに相応しい雰囲気醸し出してほしい。	○道幅の拡幅 R6年度に、サイクルコミュニティ推進室にて正門前の道路を拡幅予定。 ○ファザードデザインの検討 施設も含めて筑波山ゲートパークのファザードデザインについて、検討を進める。
19	施設外利用（観光利用やBMX、サイクリストなど）を促進するためにも、中核拠点施設開館時間外に利用できる屋外トイレの整備をしてほしい。	○屋外トイレの整備 来年度以降に、サイクルコミュニティ推進室にて屋外トイレを整備予定。
20	防犯の観点から、駐車場利用の方法や夜間警備など、周辺の住民に不安を与えることのないよう取り組んでほしい。	○防犯 R5年度に防犯カメラを設置済。また、施設警備をアルソックに依頼済。
21	施設周辺に筑波山ゲートパークの位置が分かるよう看板を設置してほしい。	○看板 R6年度に、国道125号に設置する看板および敷地内看板工事を実施予定。